

日本分析化学会九州支部 2020 年度 幹事会

日時:令和 2 年 11 月 6 日(金) 13 時 00 分～15 時 00 分

場所:Zoom によるオンライン会議

出席者(敬称略・順不同):黒田直敬(支部長)、井原敏博(次期支部長/代議員)、巴山 忠(副支部長/Anal.Sci.編集委員)、浜瀬健司(監査)、今坂藤太郎(参与)、中島憲一郎(参与)、石川洋哉(常任幹事)、稲田 幹(常任幹事)、井上高教(常任幹事)、王子田彰夫(常任幹事)、川上健次(常任幹事)、栗崎 敏(常任幹事)、佐藤 博(代議員/常任幹事)、宗 伸明(常任幹事)、西田正志(常任幹事)、井倉則之(幹事/ぶんせき編集委員)、梅木辰也(幹事)、大平慎一(幹事)、岡上吉広(幹事)、片山佳樹(代議員/幹事)、加藤祐子(幹事)、北村裕介(幹事/次期会計幹事)、佐藤しのぶ(幹事/分析化学編集委員)、白土英樹(幹事)、末田慎二(幹事)、高椋利幸(幹事)、竹中繁織(幹事)、田中 明(幹事)、田中 充(幹事)、戸田 敬(本部理事/幹事)、富永昌人(代議員/幹事)、中園 学(幹事)、原田 明(本部副会長/幹事)、藤井清永(幹事)、増田寿伸(幹事)、水城圭司(次期庶務幹事)、満塩 勝(幹事)、森 健(幹事)、山口敏男(幹事)、横山さゆり(幹事)、吉田秀幸(幹事)、中村沙織(会計幹事)、岸川直哉(庶務幹事)

議題(担当者)

会議に先立ち、支部長より挨拶と今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン会議で幹事会が開催されることになった経緯の説明が行われた。

1 報告事項

1) 2020 年度支部事業経過報告および予定

九州分析化学若手の会第 33 回若手研究講演会および第 38 回夏季セミナー (満塩世話人)

7 月 22 日(水)～7 月 23 日(木)の日程で鹿児島市において開催予定の九州分析化学若手の会第 33 回若手研究講演会及び第 38 回夏季セミナーについて、世話人の満塩幹事(鹿児島大学)より、新型コロナウイルス感染症の影響により開催の可否を世話人と執行部で入念に検討した結果、本年度の準備状況では三密を避けた形での実施が難しいと判断し、夏季セミナーを中止とすることを決定したとの説明がなされた。また、中止決定後の会計報告と残務処理について説明がなされた。

第 61 回分析化学講習会(岸川庶務幹事)

8 月 6 日(火)～9 日(金)に九州大学伊都キャンパス・九州大学馬出キャンパス・福岡大学理学部・福岡市産学連携センターにおいて開催が予定されていた第 61 回分析化学講習会について、実行委員長加地幹事(九州大学)の代理として岸川庶務幹事から新型コロナウイルス感染症の影響により講習会は中止となったことの説明がなされた。

機器分析ワークショップ(川上常任幹事)

川上常任幹事((株)ジェイ・サイエンス西日本)より、9 月 23 日(水)に機器分析ワークショップ・インハウス新技術セミナーがオンライン方式で開催されたとの報告がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン方式となったが、その分九州外からの聴衆者も多かったとのことであった。また、来年度は長崎大学(長崎市)にて機器分析ワークショップを開催予定であるとの説明がなされた。

なお、オンライン方式インハウスセミナーは熊本大学の太田先生に講演をお願いした。内容は別紙ポスター(次ページ)を参考にして欲しいとの発表があった。

《機器分析ワークショップ》

『オンライン方式による』

新技術インハウスセミナー

主 催：日本分析化学会 九州支部
協 賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本
後 援：(株)西村商会
日 時：2020年9月23日（水） 13:30～15:20
会 場：三菱重工業(株)総合研究所・会議室

《テーマ》

- ・ 電場と膜透過を利用した溶存イオンのハンドリング技術

【プログラム】

- 13:30～13:40 ご挨拶並びに講師の紹介
澤津橋上席研究員（日本分析化学会九州支部幹事）
三菱重工業(株)技術本部・総合研究所
化学研究室 化学第一研究室・実験 T 統括
- 13:40～15:10 《講演タイトル》
溶存イオンのインライン抽出による前処理・分離・精製・合成
講 師：大平 慎一
熊本大学大学院先端科学研究部・基礎科学部門 准教授
- 15:10～15:20 質疑応答

※総合進行担当：川上&松尾（(株)ジェイ・サイエンス西日本）
*アシスタント：(株)八頭司（(株)西村商会）

【お問合せ先】

(株)ジェイ・サイエンス西日本 (TEL : 092-611-9161 FAX : 092-611-9165)
川上 (kawakami@js-n.co.jp) or 松尾 (matsuo@js-n.co.jp)
(株)西村商会 (TEL:095-828-222 FAX : 095-824-6144)
八頭司 (yatouji@n-syokai.co.jp)

2020 年度九州分析化学会賞・奨励賞(稲田選考委員長)

2020 年度九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会について、選考委員長の稲田常任幹事(九州大学)から報告がなされた。今回は例年とは異なり、学会賞・奨励賞ともに 8 名の選考委員による書類審査のみで執り行い、奨励賞に関してはメールによる質疑応答が行われたことが説明された。選考委員会において議論を行った結果、応募者はいずれも十分な業績と実力を有しており、授賞を決定したことが報告された。本年度の受賞者は以下の通りである。

【九州分析化学会賞】

高椋利幸先生(佐賀大学理工学部化学部門)

【九州分析化学奨励賞】

謝 金玲さん(九州大学大学院薬学府創薬育薬産学官連携分野)

なお、受賞講演については、九州分析化学会賞は次年度の幹事会で、奨励賞については次年度の夏季セミナーもしくは幹事会で行う予定であることが説明された。最後に、今年度は奨励賞の応募件数が 1 件と少なかったため、活性化のためにも来年度は積極的に奨励賞に応募してほしいとの要請がなされた。

第 57 回化学関連支部合同九州大会(岸川庶務幹事)

6 月 27 日(土)に北九州国際会議場において開催が予定されていた第 57 回化学関連支部合同九州大会について、岸川庶務幹事より新型コロナウイルスの感染拡大により中止となったこと、ならびに依頼講演をお願いしていた末田慎二先生(九州工業大学)には改めて来年の合同大会で講演をお願いすることになったことの説明がなされた。

2)2020 年度支部会計中間報告(中村会計幹事)

2020 年度支部会計の途中経過について、中村会計幹事(長崎国際大学)から報告がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響で講習会及び若手の会事業が中止となったことにより、大きな収入も支出も発生しなかった。若手の会にて助成金収入があったが、次年度に繰り越しとしたい。また、各種会議をオンラインもしくはメールで開催したことにより、旅費交通費及び会議費を使用しておらず、共通管理費の徴収もないとのことで、次年度の繰り越しは例年よりも多く見込まれることが報告された。

3)本部・支部連絡会議(黒田支部長)

9 月 17 日(金)に日本分析化学会第 69 年会(名古屋)に合わせてオンラインで開催された本部・支部連絡会議について、黒田支部長(九州大学)から報告がなされた。内山会長ご逝去に伴う分析化学会の今後の運営体制や経理状況に関しての本部からの報告についての説明がなされた。また、今年度の九州支部事業の開催状況について説明したことが報告された。

4)理事会報告(戸田理事)

7 月～10 月の間に計 5 回開催された理事会・臨時理事会について、議事録に基づいて、戸田理事(熊本大学)から説明がなされた。最初に、キャッシュフロー等の決算の概要について説明がなされた。次に、内山会長のご逝去に伴って、金澤秀子筆頭副会長が会長業務執行等を代行する件等の今後の運営組織に関する報告がなされた。続いて、第 80 回分析化学討論会(北海道)や日本分析化学会第 69 年会(名古屋)がオンライン開催になり、そのため北海道支部の予算が厳しくなった件、また来年度開催の第 81 回分析化学討論会(山形)もオンライ

ン会議になりそうである等の説明がなされた。分析化学会発行の 3 誌については、人件費や本部職員の負荷業務の見直しが行われていることについての説明がなされた。

5)各誌編集委員会

Analytical Sciences(巴山編集委員)

8月6日(木)オンライン開催の第3回編集委員会について、提出された編集委員会の議事録に基づいて、巴山編集委員(福岡大学)から説明がなされた。今年はずべて Analytical Sciences のインパクトファクターが 2 を超えたが、自己引用率が 45% と高い状況にあるため、他誌に投稿する際には、Analytical Sciences の論文を積極的に引用してほしいとの要請がなされた。

分析化学(佐藤編集委員)

8月6日(木)開催の第3回編集委員会、9月8日(火)開催の第4回編集委員会 TV 会議について、佐藤編集委員(九州工業大学)より提出された編集委員会の議事録に基づいて説明がなされた。2021年(第70巻)の年間特集が「食」であることや、2020年4月投稿文より掲載料が必要になっていること等について説明がなされた。

ぶんせき(井倉編集委員)

7月7日(火)開催の第1回編集委員会、10月21日(水)開催の第2回編集委員会 TV 会議について、井倉編集委員(九州大学)より提出された編集委員会の議事録に基づいて、説明がなされた。ぶんせき誌の電子化や2021年の表紙デザイン等について説明がなされた。

6)その他

内山会長のご逝去(黒田支部長)

黒田支部長より、内山一美会長がご急逝されたとの連絡を受け、告別式には九州支部事務局より供花・弔電をお送りしたことについての説明がなされた。

共催・協賛事業(岸川庶務幹事)

岸川庶務幹事より、10月28日(水)~31日(土)開催の第43回溶液化学シンポジウム(実行委員長:鹿児島大学 神崎 亮先生)より日本分析化学会九州支部への共催が依頼され、執行部役員で検討した結果、共催が承認され、共催金3万円を助成することが決定されたとの報告がなされた。新型コロナウイルス感染症の影響により、第43回溶液化学シンポジウムは1年延期されることが決定されたが、実行委員等はそのまま継続とのことであったので、共催金はそのまま次年度に引き継がれることになることの説明がなされた。

2. 審議事項

1)2021年度支部事業計画案(黒田支部長)

2021年度計画案について、黒田支部長から説明がなされた。第58回化学関連支部合同九州大会の開催は令和3年7月3日(土)に予定されていること、ならびに分析化学会九州支部よりの依頼講演は末田慎二先生(九工大院情報工学研究院)に改めてお願いすることが説明された。また、来年度開催の第34回若手研究講演会および第39回夏季セミナー代表世話人の佐藤幹事(九工大院工学研究院)よりセミナー案と予算の説明がなされた。さらに、来年

度の講習会やその他の事業案についても説明がなされ、これらの事業案については提案通りに承認された。

2)2021 年度支部予算案(中村会計幹事)

2021 年度支部予算案について、中村会計幹事(長崎国際大学)から説明がなされた。2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの事業が中止・延期となり予算の状況が例年とは大きく異なるため、2021 年度予算案は 2019 年度の予算案に基づいて計画されていることが説明され、承認された。なお、昨年度からの懸案事項であった共通管理費の徴収に関しては計画されていないことが黒田支部長より説明された。

3)支部役員の変更(岸川庶務幹事)

人事異動にともなう企業側幹事の変更(1 名)、退任(1 名)と役員変更(1 名)について説明がなされた。

4)2021 年度支部・本部関係役員(黒田支部長)

2021 年度支部・本部関係役員について、黒田支部長(長崎大学)から説明がなされた。戸田理事(熊本大学)の任期が今年度いっぱい満了となるため、黒田支部長が来年度よりの理事を担当することが報告された。一方、代議員は来年も引き続き留任となることが報告された。次年度支部長には井原先生(熊本大学)、次次年度支部長には富安先生(鹿児島大学)が就任されることが説明された。その他、常任幹事について交代する場合は、事務局に連絡するよう依頼が行われた。

5)その他

2020 年度支部役員名簿(岸川庶務幹事)

11 月 6 日現在の役員名簿が配布された。加筆・修正が必要な場合は、事務局に連絡するよう依頼が行われた。

以上